Markdown 文書作成ガイドライン(PDF 出力対応)

XXXXXX 2025 年 4 月

1 概要

このガイドラインは、Pandoc と LaTeX テンプレートを用いて Markdown ファイルから PDF を安定して生成するための記述ルールを定めたものです。

2 一般設定(出力時の基本オプション)

pandoc Guide.md -o Guide.pdf

- --template=template_custom.latex
- --pdf-engine=xelatex
- --columns=120
 - "-pdf-engine=xelatex": 日本語フォントに対応。
 - "-columns=120"は自動折り返しや表幅の制御のために必要です。

3 セクション構成と自動番号付け

Markdown の#,##|,###| などを使えば、自動で LaTeX の \section, \subsection, \subsubsection に変換され、番号は自動で付与されます。

第 1 章のタイトル

1.1 セクションタイトル

1.1.1 小見出し

セクション番号を手動で書かないでください(PDFで重複やズレの原因になります)。

4 表のルール

4.1 書き方の基本

- 通常の Markdown 表記で OK。
- ただし、文字数に制限がある。目安は以下の通り

項目 推奨 1 列あたりの文字数(全角)

2列 ~40 文字

3列 ~30 文字

4列 ~20 文字

4.2 長文セルの改行方法

長文セルでは \\ ではなく、LaTeX コマンド \makecell{...} を使う:

```
| 項目 | 説明 |
|-----|
| 例 | \makecell これは長い文章なので\\改行して見やすくしています |
```

↓出力例

項目 説明

例 これは長い文章なので 改行して見やすくしています

5 画像挿入のルール

画像のレイアウトや大きさはテンプレート側で制御しています。そのため、画像を挿入したい場合は、以下をマークダウンへ書き込んでください。

5.1 単体画像

\SingleImageimages\xxx.jpg

サイズ:縦長の画像は本文高さの40%になり、横長の画像は本文幅の80%になる

5.2 横並び画像

\InsertImageRowimages\img1.jpg, images\img2.jpg, images\img3.jpg

- 一枚だけ指定しても問題なく動作するが、出力される画像は小さくなる。
- 最大5毎まで横に並ぶ
- 自動で余白や画像幅が調整される

6 改行と段落のルール

操作	Markdown 記法	説明
段落区切り	空行を挟む	通常の段落区切り
明示的改行	\\(非推奨)	表内だと効かない時がある
表内改行	\makecell{atextbackslash{}\b}	表中の複数行対応

7 コードブロックや記号・特殊文字の取り扱い

7.1 絵文字・記号など

PDF 出力時には対応フォント(例: Segoe UI)に該当の文字が含まれていないと、Missing character エラーになる。

7.2 コードブロックの代替マクロ

Pandoc の --highlight-style によるシンタックスハイライトが LaTeX でうまく機能しないため、LaTeX でコードブロックがうまく機能しないときがありました。 テンプレート側のマクロで対処しています。コードブロック風に仕立てたいときは、以下のように記述してください。

\begin{CodeBlockBox}
(ここに書きたい内容を記述)
\end{CodeBlockBox}

8 禁止事項

- 表の中に数式など複雑な LaTeX コマンドを直接書くこと (エラー原因になります)
- \section などの LaTeX 命令を Markdown 中に直接書くこと (Pandoc で二重変換してしまいます)
- \\ で強制改行しすぎる(表や画像と干渉してしまいます)

9 その他注意事項

- 改ページは自動に任せましょう(\newpage は使わない)
- ページ内に画像が入りきらない場合、自動的に次ページに送られます
- できる限りテンプレート内で自動制御されるよう調整済みです

10 よくあるエラーと対処

	説明
Missing number, treated as zero File ended while scanning use of 画像が出ない 表がはみ出す	